

2022年6月30日(木) 10:00~17:00

新型コロナ禍で「孤立に苦しむ市民」の支援③—

## 深刻化する「孤独・孤立」

### —実態把握と自治体の支援体制・施策

～政府の取組み・全国調査／孤立ゼロ社会を目指した多機関連携の仕組みと運用～

- 石田 光規 氏／早稲田大学文学学術院文化構想学部教授  
内閣官房「孤独・孤立の実態把握に関する研究会」座長
- 【講師陣】  
北波 孝 氏／内閣官房孤独・孤立対策担当室次長  
森澤 昌代 氏／江戸川区福祉部生活援護第一課  
ひきこもり施策係係長  
柴垣 維乃 氏／名張市地域包括支援センター長  
玉木 達也 氏／毎日新聞社会部記者

2022年7月5日(火) 10:00~16:50

「介護する子ども」への自治体支援施策④—

## 始動期のヤングケアラー対策 —実態把握と支援政策

～多機関・多職種&庁内連携による支援機能の強化策と推進実務～

- 田中 悠美子 氏／立教大学コミュニティ福祉学部福祉学科助教
- 【講師陣】  
内尾 彰宏 氏／厚生労働省子ども家庭局家庭福祉課  
虐待防止対策推進室室長補佐  
芳賀 栄彦 氏／山梨県子育て支援局子ども福祉課主査  
片山 睦彦 氏／藤沢市福祉部地域共生社会推進室主幹

2022年6月30日(木) 10:00~17:00 剛堂会館・会議室

新型コロナ禍で「孤立に苦しむ市民」の支援③—

## 深刻化する「孤独・孤立」—実態把握と自治体の支援体制・施策

～政府の取組み・全国調査／孤立ゼロ社会を目指した多機関連携の仕組みと運用～

- 横串型司令塔、連携型伴走支援と実効性ある対策づくり □[東京・江戸川区]誰も孤立させない地域社会形成によるひきこもり支援  
■政府の取組み・政策手法と実態把握全国調査結果 □[三重・名張市]総合的、継続的、重層的な支援と多機関連携の推進

時	講 義 内 容	(開催要領・申込は裏面参照)
10:00 ～ 11:10	1. 孤独・孤立の多様性と自治体に求められる支援 ～横串型司令塔の必要性と連携型伴走の確立～  1. 日本社会における孤独・孤立 2. なすべきこと1: 孤立の実態把握 3. なすべきこと2: 連携体制の構築	早稲田大学文学学術院文化構想学部教授 内閣官房「孤独・孤立の実態把握に関する研究会」座長 石田 光規氏  4. なすべきこと3: 受け入れ口の整備と情報提供 5. なすべきこと4: 居場所とアウトリーチの試み  <質疑応答>
11:20 ～ 12:30	2 孤独・孤立対策に関する政府の取組みと実態把握全国調査結果  1. 政府の取組みの契機と経緯 2. 政策手法と重点計画 3. 実態把握の調査結果 4. 今後の展開	内閣官房孤独・孤立対策担当室次長 北波 孝氏  <質疑応答>
13:20 ～ 14:25	3. [東京・江戸川区]江戸川区のひきこもり支援施策について ～だれも孤立させない地域社会を～  1. 令和元年度の実態調査について (1) 調査方法・調査結果 (2) 調査結果から見てきたもの 2. 令和3年度の実態調査について (1) 調査方法・調査結果 (2) 調査結果から見てきたもの	江戸川区福祉部生活援護第一課ひきこもり施策係係長 森澤 昌代氏  3. 令和4年度の施策について (1) 当事者向けの施策 (2) 誰も孤立させない地域社会を  <質疑応答>
14:35 ～ 15:40	4. [三重・名張市] 孤立ゼロ社会をめざした名張市の取組み ～地域福祉教育総合支援ネットワークと多機関連携の推進～  1. 地域共生社会実現に向けた名張市のしくみ ～住民主体のまちづくりとまちなかの保健室～ 2. 総合的、継続的、重層的な相談支援に向けた取組み ～名張版ネウボラ、名張市地域福祉教育総合支援ネットワーク～	名張市地域包括支援センター長 柴垣 維乃氏  3. 社会的処方の実践に向けた試み ～かかりつけ医や専門医との連携、リンクワーカー研修～  <質疑応答>
15:50 ～ 17:00	5. 深刻化する「孤独・孤立」—その対策の実効性  1. 都庁に届かぬ「行列の声」 2. 拡大自殺が生まれる背景 3. 10万円給付から見た解決の道	毎日新聞社会部記者 玉木 達也氏  <質疑応答>

「介護する子ども」への自治体支援施策④—

# 始動期のヤングケアラー対策—実態把握と支援政策

## ～多機関・多職種 & 庁内連携による支援機能の強化策と推進実務～

■自治体・地域への期待と多機関・多職種の協働体制づくり

■〔山梨県〕ヤングケアラー支援ガイドラインの成果と課題

■〔国〕小中高大生の本人調査と支援予算、今後の展開

■〔藤沢市〕庁内連携と包括的支援、相談支援機能の強化

時	講 義 内 容
10:00 ～ 11:20	<p><b>1. ヤングケアラーの実態にみる自治体・地域に期待される支援施策</b> <span style="float:right">立教大学コミュニティ福祉学部福祉学科助教 田中 悠美子氏</span></p> <p>1. ヤングケアラーの実態と生活課題 2. 家族全体を支えることの必要性 3. 多機関・多職種が協働できる体制づくり 4. ヤングケアラーを自治体・地域で支えるために求められること</p> <p style="text-align:right">&lt;質疑応答&gt;</p>
11:20	<p>[田中 悠美子(たなか ゆみこ)氏プロフィール] 専門は社会福祉学。社会事業大学非常勤講師、文京学院大学助手等を経て2018年より現職。ヤングケアラーやソーシャルサポートネットワーク、認知症ケア等の研究に取り組むほか、一般社団法人日本ケアラー連盟理事を務める。また、2022年2月に一般社団法人ケアラーワークスを立ち上げ、ケアラーの支援に取り組んでいる。</p>
11:30 ～ 13:00	<p><b>2. 国におけるヤングケアラー支援の現況</b> <span style="float:right">厚生労働省子ども家庭局家庭福祉課虐待防止対策推進室室長補佐 内尾 彰宏氏</span></p> <p>1. ヤングケアラー支援のこれまでの取組み(厚労省・文科省合同PT) 2. 子ども本人を対象とした実態調査(小中高大生への調査) 3. ヤングケアラー支援の予算 4. 今後の取組みの方向性</p> <p style="text-align:right">&lt;質疑応答&gt;</p>
14:00 ～ 15:20	<p><b>3. 〔山梨県〕実態調査・支援者等の意見を踏まえたヤングケアラー支援の取組み</b> <span style="float:right">山梨県子育て支援局子ども福祉課主査 芳賀 栄彦氏</span></p> <p>1. ヤングケアラー支援ガイドラインについて 2. 山梨県の主な取り組みについて～令和3年度、令和4年度予定～ 3. 成果と課題</p> <p style="text-align:right">&lt;質疑応答&gt;</p>
15:30 ～ 16:50	<p><b>4. 〔神奈川・藤沢市〕ケアを担う子どもたち～ヤングケアラーへの理解と支援～</b> <span style="float:right">藤沢市福祉部地域共生社会推進室主幹 片山 睦彦氏</span></p> <p>1. 様々な状況下にあるヤングケアラー ①教育や福祉の現場における調査結果から ②子どもがケアを担う背景と課題 ③当事者の声に基づく支援ニーズ 2. 把握から支援まで ①支援の第一歩は「気づき」から ②多機関・多職種連携による支援 ③支援において留意すべき事項 3. 藤沢市における包括的支援の取組み ①地域共生社会をめざす地域包括ケア ②庁内連携による専門部会・分科会の設置 ③地域を基盤とした相談支援機能の強化</p> <p style="text-align:right">&lt;質疑応答&gt;</p>

**【参加要領】**

■会 場：剛堂会館・会議室(東京都千代田区紀尾井町3-27)(案内図は申込後送付)

■支払方法：請求後の振込・郵便振替・当日払い

■参加費(1名分) ※メディア参加申込の方は研修会開催後にCD(講演収録)と資料及び請求書をお送り致します。  
※6/30メディアCDには玉木達也氏(毎日新聞)のご講演は収録されません。

みずほ銀行麹町支店 普通1159880  
三井住友銀行麹町支店 普通7411658  
三菱UFJ銀行神田支店 普通5829767

	1名参加(1回)	メディア参加(6/30)	メディア参加(7/5)
行政・議員	25,000円	26,000円	28,000円
一 般	35,000円	36,000円	38,000円

郵便振替:00110-8-81660 口座名:榊地域科学研究会

■申込方法：下記の申込書に所要事項を記入の上送付下さい(FAX・郵送・メール等)。

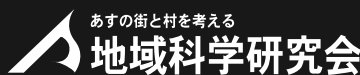
当日参加で申込み後にご都合が悪く欠席される場合には代理の方の参加またはメディア参加とさせていただきます。

請求書等書類が不要の方は開催日までに上記口座へ振込をお願いします。書類が必要な方には受講証と共に郵送しますので到着後にお支払いをお願いします。領収書が必要な方には当日受付でお渡し致します(日付、但書等の留意点があれば明記下さい)。

**＜新型コロナウイルス感染症に伴うセミナー開催への対応について＞**

予防対策として、座席の間隔を空け、定期的な換気・アルコール消毒等を行います。手洗いやマスク着用等にご協力下さい。

お申し込み・お問合せ



東京都千代田区平河町2-3-10ライオンズマンション101  
TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993 〒102-0082  
URL : <http://cloud.chiikikagaku-k.co.jp/>

【申込書(2022年 月 日)】希望欄にレ印を入れて下さい

<p>■「深刻化する「孤独・孤立」—実態把握と自治体の支援体制・施策」</p> <p>■「始動期のヤングケアラー対策—実態把握と支援政策」</p>	<p><input type="checkbox"/> 当日参加 <input type="checkbox"/> メディア参加</p> <p><input type="checkbox"/> 当日参加 <input type="checkbox"/> メディア参加</p>
<p>団体・所属 (請求書等宛先名)</p>	<p>住所〒</p>
<p>TEL</p>	<p>FAX</p>
<p>E-mail</p>	<p>連絡担当者</p>
<p>参加者氏名</p>	<p>所属部課役職名</p>
<p>参加者氏名</p>	<p>参加者氏名</p>
<p>参加者氏名</p>	<p>所属部課役職名</p>
<p>必要書類〔納品書( ) 請求書( ) 見積書( ) 領収書( )〕</p> <p>支払方法〔銀行振込( ) 郵便振替( ) 当日払い( )〕</p> <p>請求書等宛名:</p>	

※ご記入いただいた個人情報は当会の活動(セミナー・出版等の申込受付、連絡、請求、案内等)のみに使用させていただきます。